

＜あとがき＞

本年も、本誌を刊行できました。寄稿していただいた先生方に厚く御礼申し上げます。さらに本誌は51巻を迎え、創刊から半世紀を超えました。今後も、教養教育に携わる教員の研究の一端を担うべく発展していくことを期待します。

さて大学全体を見ますと、新カリキュラムで学習する学生が4年生となって臨床実習が始まっています。一方、昨年2月におきました附属病院の家宅捜査の一件は、12月に不起訴処分となりおさまったように思われます。この一件から、昨年4月には竹中洋学長が着任され、同11月に行われた大学機関別認証評価受審に向けて奥田副学長を先頭に様々な改革に着手されてきました。これまでは新しいルール作りが中心でしたが、臨床実習72週化が本格的に始まることもあり、今後はカリキュラムや時間割についてもさらに見直す必要が出てくるかもしれません。そういったことにも対応できるよう、教養教育も柔軟な姿勢でありたいと思います。

下鴨キャンパスに目を向けますと、三大学教養教育共同化授業が稲盛記念会館で本格的に始まって3年半がたちました。提供科目は80近くになり宿泊研修も行われて、内容も充実してきました。関係されている教職員の方々のご努力にお礼と敬意を表します。一方で、しばしば指摘されている自大学提供科目に受講生が集中する傾向はまだ続いています。今後は、本学においても多様な提供科目の魅力を入生には宣伝して受講を促していこうと思います。また、一昨年12月にオープンした隣接する京都学・歴彩館では、1階では書画や陶芸など『京都の美』を無料で鑑賞でき、2階には4月に移転した京都府立大学図書館と京都府立医科大学図書館下鴨館があって医大の図書館にはなかった分野の本を閲覧することができます。キャンパス周辺の環境整備等にはもう少し時間がかかりそうですが、北山文化環境ゾーンを学生ともども楽しんでいきましょう。

小野勝彦

編集委員

人文・社会科学教室 瀬戸山 晃一

(Koichi SETOYAMA)

第一外国語教室 木塚 雅貴

(Masataka KIZUKA)

数学教室 長崎 生光

(Ikumitsu NAGASAKI)

物理学教室 上原 正三

(Shozo UEHARA)

化学教室 鈴木 孝禎

(Takayoshi SUZUKI)

生物学教室 小野 勝彦

(Katsuhiko ONO)

STUDIA HUMANA e t NATURALIA 51 (非売品)

平成30年2月10日 印刷

平成30年2月17日 発行

編集兼 京都府立医科大学医学部医学科 (教養教育)

発行者 代表者 小野 勝彦

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-5

教養教育共同化施設「稲盛記念会館」

電話(075)703-4921

印刷所 (株) 田中プリント
